

# 泥棒が狙う家

\* 殆どの場合、泥棒は侵入する家を事前に調査し決めます

## 泥棒が主に調べる内容は

- ・家族構成
- ・家族の行動パターン
- ・建物の死角の有無、と侵入の容易性
- ・近くの警察署や交番の場所
- ・周辺の道路事情や人どうりなどの状況

台見台  
禁止転用



## 泥棒が犯行を決めるポイントは？

**侵入が容易で逃げやすい。**

\* 角地や、家の周辺が空き地で多方面へ逃走が可能な立地条件の家

**周辺住民から怪しまれにくく、捕まりにくい。**

\* 建築工事等が多く、見知らぬ人物が不審に思われない地域

**防犯意識が薄く、警備システムなどがついていないため入りやすい。**

\* 防犯灯などの防犯設備がまったく設置がされていない家

**人通りが少なく、人目につきにくい。**

\* 近隣に学校、公共施設、ショッピングセンターの無い住宅地など

**建物に死角があり、周囲から犯行が見えない。**

\* 玄関や窓に死角のある家は防犯対策が必要です。

**決まった時間に家を留守にする。**

\* 留守の時間が掌握できているので安心して行動できる。

**足場があるなど侵入しやすい。**

\* テーブルやカーポートの屋根など足場になるものがある

**近所づきあいがなく、居住者相互の面識がないため発見されにくい。**

\* 人と会っても不審に思われる事もなく侵入後の行動も怪しまれることがない

**金目のものがある。**

\* 豪邸だけでなく、高級車を保有している家なども狙われます。



## 新興住宅街は狙われやすい？

新興住宅地は塀は低く、防犯を考慮した敷地構成にはなっているのですが、被害件数は多く発生しています。原因にあげられる要素は近隣の連携が出来ていない、多くの営業マンが訪れる、近くに建設現場があるケースが多いなど不特定多数の人がいて不審者かどうかの判別が付きにくい。また、銀行が近くないケースが多い反面、新築の住まいなどで買え揃えるものがありまとまったお金を置いてあるケースが多いなどがあげられます。